

令和7年度エシカルワークショップ開催業務委託仕様書（案）

1 適用範囲

本仕様書は、福島県（以下「発注者」という。）が発注を予定している「令和7年度エシカルワークショップ開催業務委託」企画提案募集及び委託する場合において適用される主要事項を示すものであり、業務委託契約書に添付する仕様書は、最優秀提案者が決定した後、協議の上別途作成する。

2 事業目的

地域の活性化や雇用なども含む、人や社会、環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」は、SDGs 12番目にあたる「つくる責任、つかう責任」と関わりが深く、持続可能な社会の実現へ必要な取組であるが、現状では認知度が高いとはいえず、消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え実践する人は少ない。

このことから、エシカル消費への理解を深め、実践へとつなげる機会として、廃棄予定のものを新しい製品へと生まれ変わらせる「アップサイクル」の手法や、食品ロス及びごみ削減の方法などを学ぶ、実践ベースの「エシカルワークショップ」を県内各地で開催し、グループワークを通して、エシカル消費を起点に、地域の課題解決を目指す。

3 委託業務内容等

受注者は、次に定める事業を実施するものとする。

（1）エシカルワークショップ開催業務

ア エシカルワークショップ企画

本県内の浜通り、中通り、会津の3地域ごとに、「企業向け」及び「一般消費者向け」の2種類のワークショップを企画すること。

企業向けは、県内の企業を対象とし、グループワークを通して、アップサイクルなど、エシカル消費を起点とした地域の課題解決につながるアイデア出しや、企業同士のマッチング、さらにはコミュニティづくりにつながる場とすること。

一般消費者向けは、県内の高校生や大学生など、若者から高齢者まで、幅広い年齢層を対象とし、食品ロス及びごみ削減、フードドライブなど、身近なエシカル消費を通して地域の社会的課題の解決に資する学び、体験の場とすること。

（ア）開催時期・場所・回数

令和7年5月～令和8年2月までに、本県内の浜通り、中通り、会津の3地域ごとに2回（企業向け1回、一般消費者向け1回）以上開催すること。

（イ）ワークショップ1回の開催時間

2～3時間程度を想定（会場設営・撤収時間等含まない。）

（ウ）ワークショップ1回あたりの定員

30人～45人を想定

イ エシカルワークショップ運営

(ア) 事務局運営

ワークショップ運営のために事務局を設置し、準備から開催までのスケジュール調整や各種申請等、ワークショップの開催に当たり必要となる全ての運営業務を行うこと。

また、ワークショップの開催に当たり、必要かつ適切な人員配置を行うこと。

なお、疑義が生じた場合は、その都度、発注者と協議すること。

(イ) 会場設営

会場設営に当たっては、施設管理者の指示等を遵守するとともに、参加者が来場しやすい会場を選択すること。

(ウ) その他

上記以外についても、ワークショップが円滑に開催されるために必要な業務を行うものとし、業務遂行に要する費用は、全て委託料に含むものとする。

(2) 情報発信業務

幅広い層が対象であることを踏まえ、チラシやポスターをはじめとした紙媒体のほか、インターネット広告、WEB、SNS、又は企業や団体、学校などへ直接参加を呼び掛けるなど、対象ごとに的確な情報発信方法を選択し、参加者を募ること。

一般消費者向けの参加者については、若者（高校生や大学生等）から高齢者まで幅広い年齢層が参加できるよう、情報発信に努めること。

なお、情報発信業務遂行に要する費用については、全て委託料に含むものとする。

(3) 実績報告

事業終了後、参加者数等の事業効果が分かる書類を添付の上、実績報告書等を提出すること。

(4) 留意事項

ワークショップ開催及び情報発信業務については、コストに留意したうえで、各プロポーザル参加者の自由なアイデアを踏まえた提案を盛り込むこと。

4 目的物（成果品）の納入場所

福島県生活環境部消費生活課

5 その他

(1) 受注者は、委託契約書に及び仕様書に基づき、常に、発注者と密接な連絡を取り、その指示に従うこと。

(2) 本仕様書に記載のない事項については、発注者と受注者が誠意をもって協議し、法令を厳守して実施すること。